



議会だより

なよろ

22

No.

2011 .11 .1 発行



健康体操に汗を流す市民の皆さん

『なよろ健康まつり』が9月24日、総合福祉センターを会場に大勢の市民の皆さんが参加して開かれました。この催しは、市民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という意識を持って健康づくりに取り組むことをねらいに開催されています。



東日本大震災の復興を応援するチャリティーバザーで接客する保健推進員の皆さん



生活習慣病の予防に体内健康測定を行う参加者

第3回定例会

定例会で決まったこと	2
決算審査特別委員会・議員協議会	3
一般質問に9人・議会スナップ	4 ~ 8
各委員会活動報告	9
きぼう・議会日誌・編集後記	10

第3回定例会 9月6日から28日までの23日間

～ 公共施設の使用料等を見直し～ 特別委員会を設置して審査へ

平成23年第3回定例会は、9月6日から28日までの23日間開かれました。

議案審議では、条例案7件、補正予算案6件、平成22年度決算の認定案3件、その他12件、報告7件、意見書案6件、決議案1件を審議しました。

一般質問は、9月15日、16日、20日の3日間行われ、9人の議員が市政の課題について質問しました。

主な条例

名寄市立学校施設開放利用条例の制定、使用料見直し等に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定

受益と負担の適正化や公平性の原則から、現在、使用料が無料である公共施設の有料化及び各公共施設の設置条例の整備統一を図る。学校施設開放利用事業について条例化と施設使用料を有料化する。水泳プールの施設使用料の有料化や各施設の使用料等の見直しを行うため12本の施設設置条例等の一部を改正する。風連地区施設使用料徴収条例は廃止する。両議案は、使用料見直し等に伴う関係条例の整備等に関する審査特別委員会を設置し付託した。

審議日程

9月6日(火)	に関わる審査特別委員会
・開会	
・行政報告	9月20日(火)
・議案等審議	・一般質問
使用料見直し等に伴う関係条例の整備等	議会運営委員会
に関わる審査特別委員会	9月22日(木)
決算審査特別委員会	決算審査特別委員会
議員協議会	9月26日(月)
9月15日(木)	決算審査特別委員会
・一般質問	9月27日(火)
議会報特別委員会	決算審査特別委員会
9月16日(金)	9月28日(水)
・一般質問	決算審査特別委員会
議会運営委員会	・委員長報告
使用料見直し等に伴う関係条例の整備等	(付託議案)
	・議案等審議
	・閉会

主な補正予算

エゾ鹿駆除対策事業費

名寄市風連一般廃棄物最終処分場に建設を予定している、駆除されたエゾ鹿の焼却施設の建築設計、地質調査と、焼却炉、建物等の工事を実施するため、3,660万円を追加。

要援護者台帳管理システム導入業務委託料

個々の法令等により個別に管理されている要援護者に関する各種データの一本化を図り、要援護者台帳システムを構築するため、497万7,000円を追加。

人事案件

人権擁護委員

人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

長内 美智子氏(新任)

名寄市西14条南10丁目274番地22

可決された意見書・決議

- ・森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書
- ・学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書
- ・大規模災害時に備えた公立学校教職員派遣制度の創設を求める意見書
- ・地方財政の充実・強化を求める意見書
- ・軽油引取税の課税免除措置などの恒久化を求める要望意見書
- ・平成24年度農業予算編成に関する意見書
- ・「東日本大震災」の支援活動に感謝する決議

平成22年度 決算審査特別委員会

全会一致で原案認定

平成22年度決算審査特別委員会は、9月6日に、日根野正敏委員長、川村幸栄副委員長を選任、9月22日から28日までの4日間にわたり、全議員で実質審査を行った。

審査の結果は、平成22年度各会計決算の認定について、病院事業会計決算の認定について、水道事業会計決算の認定についてを、すべて全会一致で認定すべきものと決定した。

審査では、はじめに、各会派の代表3名により、各会計にわたる横断的な事項について総括質疑を行い、その後各会計及び各企業会計の審査を行った。各委員からは98項目、再質疑を入れると225項目の質疑があり、議員定数の削減により、昨年より6名の委員が少ない中だが、熱心な質疑、提言等が交わされた。

行財政改革の進捗状況と将来推計、財産管理

状況。市立病院関係では、医師・看護師確保対策、環境整備、経営見通し等。基幹産業農業関係、教育行政関係、商工、観光、除雪サービスなどの平成22年度の決算を踏まえ、市民生活の向上に繋がる質疑・提言が多く出された。

今後の行政運営では、市民に対して、より透明性を拡大し、情報の共有、発信を行うことが求められており、協働のまちづくりを進める上では必須条件である。もっと安心して暮らせるふるさとになるようお願い結審した。



日根野正敏委員長（左）と川村幸栄副委員長（右）

議員協議会

(仮称)複合交通センター設計変更、定住自立圏形成協定の経過説明

議員協議会は7月1日に開催され、(仮称)名寄市複合交通センターの設計変更が示され説明を受けた。建設目的は、名寄駅前地区の活性化と市民会館と同様の利用仕様とするものであり、今回の設計変更は利用団体からの要望を受けたもので、フリースペースを拡大し多目的スペースの確保。1階をにぎわいづくりのための市民スペースに、2階を経済スペースに分けた。また、建築面積が増えたことから、安全基準に沿って階段が2基になった等の報告に対し質疑が行われた。

建築面積が増えているが、建築費用はどうか。入居の条件、負担についてはどう考えているのか等の質疑に対し、建築費用は約8,300万円の増になること、目的外使用許可が必要であること、面積に応じた負担を考えてい

る等の答弁があった。

9月6日には、定住自立圏形成協定の締結について経緯説明と、17項目36事業で名寄・土別市が各町村と締結すると説明があった。名寄市立学校施設開放利用条例の制定、使用料見直し等に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定については条例制定の経緯と内容説明。公共施設の冷暖房設備については、(仮称)複合交通センターにかかる冷暖房設備の見直しを行った経緯と報告がされ、市民説明が遅いのではないかなどの指摘があった。



議員協議会（7月1日開催）

一般質問



不活化ワクチンを

公明

高橋 伸典 議員

■ 不活化ポリオワクチン

問 ポリオ生ワクチンは、今でも人々をポリオの脅威から救っているが、先進国ではポリオに感染する機会がなくなり、ワクチン関連マヒ性ポリオだけが発生するため、不活化ポリオワクチンに変えている。本市でも導入を。

答 ポリオ生ワクチンは、生きたウイルスの毒性を弱めたワクチンのため、手足にマヒ症状を起こすケースがある。厚生労働省は、平成24年度中にも、不活化ポリオワクチンを加えた4種混合ワクチンの導入に向け検討中である。本市も予防接種の全般にわたり事故補償等も含め慎重な対応が求められている。予防接種法に基づいた実施を基本としたいと考えている。



不良債務発生前に支援

市民連合・凜風会

佐藤 靖 議員

■ 「その都度」は誤り

問 JR名寄駅横整備計画では、未だ不透明な部分がある。「速やかな着工」と明記している3者協定書について、促進の意味で見直しも必要ではないか。また、この協定書に基づく3者協議について市長は「その都度、議会に経過報告や説明しながら進めている」という認識であるのか。

答 集客施設の内容は決まっていないが、事業展開への努力を続けており、協定書の見直しは考えていない。議会への協議内容の報告はその都度行っていない。

■ 市立病院と市立大学の将来は

問 医師看護師をはじめ医療スタッフ確保に

■ 福祉灯油の取り組みを

問 北海道は10月頃より約半年間暖房を用いて生活している。生活弱者である低所得者に福祉灯油の支援対策は。

答 近年では灯油価格の急騰により、平成19年度には192世帯143万円、20年度には214世帯107万円の支援を行っている。今後の価格動向を注視するとともに、道内自治体の取り組み状況を見極め対応する。

他の質問・介護保険事業について・街路樹対策



子ども達に安心安全のワクチンを

苦慮している市立総合病院と、児童学科の4大化も視野に入れている市立大学の将来展望は。

答 消化器内科については後任医師の見通しが立たず10月から休診となるが、医師確保のため今後も努力する。不良債務が発生しそうな場合は、一般会計から支援を行い、不良債務が発生しない対応をする。また、看護割合は現行10対1だが、7対1移行を来年度にも導入できるよう検討中。大学については今年5月に新学科構想・施設整備検討委員会を設置した。



賃貸住宅の建設は始まったが（名寄駅横）

一般質問



名寄駐屯地の体制維持拡充

市政クラブ

川口 京二 議員

■ 第4高射特科群の存続を

問 名寄駐屯地の体制維持・拡充及び第4高射特科群存続の要望活動について。

答 6月16日に道北9市町村と連携し、名寄駐屯地に、6月27日には上川北部の首長も参加し、第2師団、北部方面総監部に、7月14日には中央要望を行い、道内選出国會議員や防衛副大臣、防衛部長等に要望を行った。10月には、市内10団体が構成する名寄駐屯地増強促進期成会で、国に対し体制維持・拡充について強く要望する。

■ 安全・安心な街づくり

問 西4条南5丁目の交差点に時差式信号機を設置し、左折可能にできないか。

答 東西両方向からの見通しが悪いため、交通事故のリスクが高くなる。現在の道路状況のまま時差式信号機を用いても、今以上の安全確保は困難との北海道警察旭川方面本部及び北海道公安委員会の見解。見通しの改善には、交差点の改良を伴う難しい対応になるが、今後とも関係団体と意見交換を図る。

他の質問・公園の維持管理と安全安心対策・観光PR(マスコットキャラクターの作成、案内板の整備)・スポーツセンターの駐車場整備



存続が望まれる第4高射特科群



原発からの撤退を望む

日本共産党

川村 幸栄 議員

■ 自然エネルギーの活用を

問 泊原発3号機営業運転再開が容認された。ウランより高い放射能を持つウラン・プルトニウム混合酸化物(MOX)燃料を燃やすプルサーマル発電が予定されている。高レベル放射性廃棄物の処分技術に関する研究をしている幌延深地層研究所は、最終処分場ではないとされるが、可能性は排除できない。道内への影響は大きい。原発、自然エネルギーへの名寄市の考えは。

答 原発は事故への対応など情報開示が必要で安心安全が担保されなければならない。自然エネルギー活用は国の支援策と連動して考えたい。

■ 子育てしやすい街に

問 子どもを取り巻く環境はこれまでになく複雑で、課題が多くなっている。子育てに夢が持て、安心して子育てできる社会環境づくりのための指針「子ども権利条例」制定の考えと、子どもの医療費助成拡大の考えは。また、公的保育の解体など保育の市場化が狙われている。「子ども、子育て新システム」についてと、市立保育所手洗い場の温水化についての考えは

答 全国97自治体が条例制定。検討していきたい。医療費助成の拡大は難しい。保育所の整備は新年度に向けて対応を検討したい。



手洗い場の温水設備設置が望まれる市立保育所

一般質問



地域が一体となって

新緑風会

山口 祐司 議員

市民防災意識の醸成は

問 市は防災のためのハザードマップ、危険マップを作製しているが、市民意識の醸成をどう図っていくのか。

答 ハザードマップ配布後に、町内会連合会での安全研修や地域町内会での出前講座などにおいて周知啓蒙を図っている。また、危険マップについても各町内会に作成キットを配布し、モデル町内会の例を参考に実際に災害に遭ったときに実効性のあるものになるように説明する中で協力を依頼してきた。これら防災活動の実践過程を広く市民にお知らせしながら地域が一体となって防災意識の向上や災害対策に取り組むという気運の醸成と啓蒙を図っていく。



望湖台活用、十分な議論を

市民連合・凜風会

日根野 正敏 議員

望湖台の今後について

問 望湖台センターハウスは、平成23年1年をかけ市民とどういう形にできるか相談して決めて行くという答だったが、その後の議論経過は。また、豊富な観光資源を持っている自然公園の運営と活用をどう考えているのか。

答 平成24年度以降の運営については、庁内で検討し、地域住民を始め関係者に説明をしていく。存続に向け、市内でセンターハウスの運営先も探していきたいと考えている。自然公園については、これまでどおり公園の魅力を内外に発信して管理運営をしていく。

交通安全指導員の処遇

問 旧風連町では指導員にわずかであるが出

小中学校の耐震改修は

問 今回公表された名寄市の小中学校施設の耐震化率が低い状況にあり、特に風連地区が低い。今後の学校再編、改修の進め方は。

答 市内小中学校15校の校舎、屋体39棟のうち、耐震化率は48.7%となっている。風連地区の施設整備については、耐震化の優先順位と適正配置とを連動させて進めることが基本であるが、適正配置については、地域要望を十分に取り入れることを大前提に進めたい。



災害はいつやってくるかわかりません。その日のために... (土のうづくり訓練)

役報酬が支給されていたが、合併により旧名寄市の制度に統一され、出役報酬がなくなり、後継の指導員確保が難しくなったとの声もある。また、風連地区には女性交通安全教育指導員が配置されていないが、均等に配置すべきでは。

答 基本的にはこれまでの議論を尊重していきたいが、今後の世代交代、指導員確保を含め適切な活動が保証されるように取り組んでいく。風連地区女性交通安全教育指導員は、今後、前向きに検討する。

他の質問・景気向上対策・農業政策



死亡事故ゼロ1,000日今年6月15日達成、これからも悲しい事故が起きないように

一般質問



地域の活性化

市政クラブ
駒津 喜一 議員

企業誘致の取り組みについて

問 産業活性化協議会の誘致計画と今後の誘致計画について、特にメガソーラーとデータセンター誘致の取り組みは、名寄市が適地と考えられ、現在の社会情勢から見て、積極的に調査研究すべきである。さらに、地域経済と雇用の面でも既存の誘致企業に対する支援も必要である。

答 名寄市独自の政策として企業立地促進法を活用し、国の基本計画の同意により北海道との連携を深めて新たな企業誘致を進めていく、また、既存の誘致企業の支援として企業立地促進条例で工場等への支援を進めていく。



未来を担う子ども達

市政クラブ
佐々木 寿 議員

地域ぐるみで学校支援

問 平成20年度から導入された「学校支援地域本部事業」の成果と課題、今後の取り組みを伺う。

答 名寄東中学校を校区のモデルに選定、既に地域や家庭が学校と協力連携している登下校時の安全指導やボランティアの要請でダンス指導等を行ったが、経費に制限があり、十分な活用に至らなかった。今後は本事業を導入せず、これまでどおりの事業を継続する。

正しい理解

問 今年8月採択された教科書の採択経緯及び中学校用の教科書で、特に「領土」「自衛隊」「外国人参政権」での記述で子ども達が正しい

雇用対策について

問 市内新規学卒者が名寄で就職したいという希望に答えるためにも、採用する企業と就職希望者に対する支援が必要。なよろで働こう奨励補助制度を復活設置するべきである。

答 企業には国の正規雇用奨励金等の支援制度の利用と、生徒にはハローワーク専門相談員による支援があるが、今後行政として精力的に企業と生徒にできる限りの支援を行って行きたい。他の質問・観光財産である星守る犬映画のロケセット奥津家の保存について・市立病院の医療スタッフ不足解消について



名寄にメガソーラー（上）とデータセンター（下）の誘致を

理解を得られるか見解を伺う。

答 文科省の検定済みの教科書15種目のうち、66種類から種目ごとに1種目を公正・公平に採択された。記述の中で異なる意見・見解があるもの、領土等国家間にわたる問題等は、平成24年度使用予定の教科書の社会科公民の記述でも、新学習指導要領に基づき様々な視点から考えさせることができるように記述されていると押さえている。

他の質問・子ども会の実情と課題・自生省エネ実践学習・学校、民間耐震化事業・ひまわり事業



8月採択された平成24年度の教科書

一般質問



総合計画・脱原発社会

市民連合・凜風会
熊谷 吉正 議員

後期計画と市民生活は

問 計画の財政展望と政策等の見通しは、市病支援優先を。主要施策等の具体化と課題。今後の基金、合併特例債等の活用方針を問う。

答 平成18年からの優遇措置が28年から減少し、33年では6.4億円下がる。今から財源対策が必要で財政展望、財源情報を示していく。市病は累積赤字を抱えているが経営は健全、しかし重症にならないうちに支援は必要。主要事業では市民ホール20億、市民図書館18億、大学図書館16億、精神科病棟改築、駐車場整備、小学校大改築事業等5年で250億円から300億円を想定する。基金及び特例債等の活用では、財政調整基金9億、減債基金7億、合併基金等

合計46億円あるが、交付税減や大震災の影響、公共施設の維持管理等に備え財源留保に努める。特例債も76億円のうち、46億円利用し、あと15億円から22億円予定している。

脱原発社会をめざすために

問 原発と幌延研究施設の見解は。公住等、公共施設エネルギー多様化を。公民教科書の原発記述は。

答 国は脱原発の流れと思う。幌延施設は協定で核廃棄物持ち込みはないと考える。原発事故について教科書会社による追加、補足が無いとは言えない。

他の質問・働く人の労働条件向上施策について



市民で支えよう市立総合病院

議会スナップ

「森林・林業・林産業活性化推進名寄市議会議員連盟で植樹」



ミズナラの苗木を植樹する参加者

森林・林業・林産業活性化推進名寄市議会議員連盟（植松正一会長）の植樹・下刈り作業が6月30日、健康の森「桜の園」で、議員ら21人が参加して行われました。



委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

委員会は8月31日に開催した。総務部から定住自立圏形成協定の説明を受けた。教育委員会からは、名寄市立学校施設開放利用条例の制定、使用料見直し等に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定、名寄風連地区施設使用料徴収条例の廃止についての条例制定・改廃の説明を受けた。また、平成22年度教育委員会事務

の管理及び執行状況の点検・評価についての報告、名寄市街地区公立学校統廃合検討委員会の設置について及び名寄市では今回初めて導入される放課後子ども教室の試行について説明を受けた。



放課後子ども教室(試行)のようす

市民福祉常任委員会

委員会は、8月29日に開催した。市立病院からは、23年度4月から6月分の収支が昨年と比較して収入減少の状況にある事、地域医療再生計画事業及び医師・看護師確保の状況について報告があった。市民部からは、炭化・生ごみ類の指定ごみ袋3の試行配布及び販売、第9次名寄市交通安全計画案、名寄市税条例及び都市計

画税条例の一部改正及び風連福祉会館条例等の一部改正について説明を受けた。健康福祉部からは、災害弔慰金に関する条例の改正、障がい者自立支援法一部改正に伴う支援の充実、子ども手当の動向等説明を受けた。また、地域支え合い体制づくり事業では、各課で管理している個人データを統合した台帳を作成すると報告があり、個人情報等の問題、条例化の必要性について質疑があり、検討すると答弁があった。

経済建設常任委員会

委員会は、7月1日と8月23日に開催した。7月1日は、仮称・名寄市複合交通センターの基本計画の一部変更について説明を受けた。8月23日には建設水道部から、水道施設漏水事故に伴う賠償問題について説明を受け、その後所管施設等の現地調査を行った。経済部からは、仮称・名寄市観光振興計画策定及び風連日進レ

クリエーションセンター条例の一部改正について説明を受けた。また、なよろ産業まつりと有害鳥獣焼却処理施設住民説明会についての説明を受けた後、主要農作物作況調査等現地調査を行った。



風連瑞生団地水洗化工事の視察

議会運営委員会

委員会は7月19日、9月2日、16日、20日、26日、28日に開催し、第3回臨時会及び第3回定例会の議会運営について協議した。

第3回臨時会は7月19日に開会し、工事請負契約の締結他2議案を審議する事とし、第3回定例会は、9月6日から28日までの23日間を会期として、追加を含め27議案、報告7件、

諮問1件、意見書6件、決議1件を審議する事とした。このうち、名寄市立学校施設開放利用条例の制定他1件を、10名の委員で構成する特別委員会に付託、平成22年度各会計決算の認定について他2件の決算認定議案を、全議員で構成する特別委員会に付託する事とした。この他、議会報告会の年度内開催(2回目)について及び正副委員長から提出している議会運営に関わる案件6件は、継続協議とすることとした。

きほう☆



『初心』
名寄市智恵文14線 遠藤 貴広

先日、名寄市農業担い手交流会にお招き頂き、今年度から新規就農する後輩達に向け、お話をする機会を頂きました。生まれて初めての講演者役。背中に冷たい汗を感じながら、とりとめのない話をして45分の持ち時間は過ぎ去っていきました。壇上から降り緊張から解放された時にふと、希望と不安の入り混じった気持ちで同じように先輩の講演を聞いた21歳の自分を思い出しました。あれから10年経ったなと感慨に浸り、そしてしばしの自問自答。自分にとっても「初心」に立ち返る良い機会となりました。

これからも農業で生きる!! 頑張ります。



『僕が君から借りたもの』
名寄市徳田 西尾 圭一

「僕が君から借りたもの」、先日行われた名寄市音楽発表会で、わが校(南小学校)の5年生が合唱した曲です。この曲には、今ここにあるすべては、次の世代から借りているもの、より良くして未来に返したい、しっかり今を生きていきたいという思いが込められています。この曲を初めて歌った時から、元気な歌声と笑顔が教室に広がり、それまでどことなく自信がなく、控えめな子どもから生き生きと活動する姿が見られるようになりました。一曲の歌が、子ども達の可能性を開くことを実感しました。これからも、子ども達とこの曲を歌い続けていきたいと思います。

議会日誌

- 6月14日 ・全国市議会議長会第183回理事会(東京都)
- 15日 ・全国市議会議長会第87回定期総会(東京都)
- ・全国高速自動車道市議会協議会監事会議(東京都)
- ・議会報特別委員会
- 22日 ・議会報特別委員会
- 7月1日 ・経済建設常任委員会
- ・議員協議会
- 5日 ・愛媛県西条市議会行政視察
- ・群馬県太田市議会行政視察
- 6日 ・愛知県一宮市議会行政視察
- ・群馬県渋川市議会行政視察
- 7日 ・全国市議会議長会基地協議会第75回理事会(東京都)
- 12日 ・江別市議会行政視察
- 19日 ・議会運営委員会
- ・第3回臨時会

- 20日 ・第129回全国市議会議長会地方行政委員会(東京都)
- 25~26日 ・議会報告会
- 28日 ・北海道市議会議長会道北支部議長会議員研修会(旭川市)
- 29日 ・岡山県備前市議会行政視察
- 8月2日 ・全国市議会議長会基地協議会北海道部会役員会(旭川市)
- 4日 ・釧路市議会行政視察
- ・開発道路名寄遠別線建設促進期成会定期総会(幌加内町)
- 8日 ・全国高速自動車道市議会協議会正副会長・監事・相談役会議(函館市)
- 23日 ・経済建設常任委員会
- 25日 ・静岡県御殿場市議会行政視察
- 29日 ・市民福祉常任委員会
- 30日 ・静岡県富士市議会行政視察
- ・全国市議会議長会基地協議会北海道部会定期総会(留萌市)
- 31日 ・各会派代表者会議
- ・総務文教常任委員会
- 9月2日 ・議会運営委員会
- ・議会報特別委員会

編集後記

▶ひまわり観光を主な目的にした名寄への観光客の入込数をまとめた結果、7月から8月の総計は2万7,180人、前年同期比38%増、道立サンピラーパークの独自集計では、6月から8月の同公園への観光客入込数は、前年同期比3.8倍の1万2,498人と大きく伸びました。

▶映画「星守る犬」の効果も大きいですが、関係者の努力もまた大きい。ようやく咲いた「ひまわ

り観光」という名の小さな花。来年はもっと大きく、もっときれいな花を咲かせなければならないと思うのは、私だけでしょうか。

▶あっという間に短い秋も終り、寒さの厳しい冬となりますが、風邪などひかぬよう健康に留意され、また来年美しいひまわりの花を見に行こうではありませんか。(京)

